

製品名: ATG4B マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82334**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	44.3kDa

抗原情報

遺伝子名	ATG4B
別名	APG4B; AURL1
遺伝子 ID	23192.0
SwissProt ID	Q9Y4P1
免疫原	大腸菌で発現したヒト ATG4B (AA: 1-221) の精製された組み換え断片。

背景

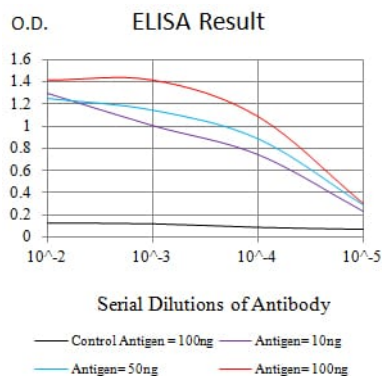
オートファジーは、内因性タンパク質や損傷した細胞小器官が細胞内で破壊されるプロセスです。オートファジーは、分化、変態、非アポトーシス性細胞死、そして老化における細胞の恒常性維持と細胞リモデリングに不可欠であると仮定されています。一部の悪

性腫瘍ではオートファジーレベルの低下が報告されており、がんに関連する制御不能な細胞増殖の制御におけるオートファジーの役割が示唆されています。この遺伝子は、オートファジタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、システインプロテアーゼの C-54 ファミリーのメンバーとしても指定されています。異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエーションが特徴付けられています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

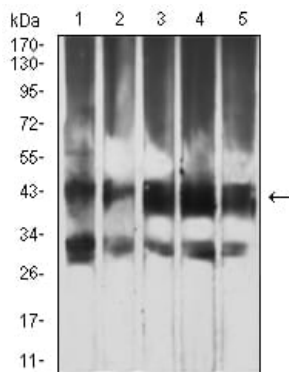
研究分野

オートファジー

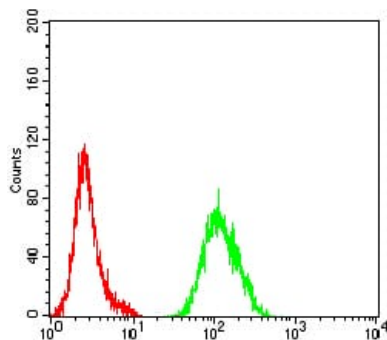
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



Hela (1)、RAW264.7 (2)、Ramos (3)、Jurkat (4)、および HepG2 (5) 細胞溶解物に対する ATG4B マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



ATG4B マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。